

## クサシギ（シギ科） 全長24センチ

10月9日、クサシギが大仙市大浦沼から流れ込む水路に飛来した。

この水路はコンクリートで作られ、下流部の田んぼの用水路として大事な役割を持っている。今は、秋の収穫もほぼ終盤になった田んぼ。刈り入れ前から田んぼの用水は止められ、水路に流れ込む水量はほとんどありません。

水路の縁に並んだ2羽のクサシギ、いつも一緒に行動しています。あいにくの雨であったが、2羽は気にする様子もありません。



同じ方向を眺めている。

コンクリートの縁から水路に降り立ち、餌を探し始めた。水深は10センチほどしかありません。昆虫類や甲殻類、タニシなどを採食することから、餌を探すには都合の良い深さでしょう。



いつも一緒のクサシギ。つがいかも。



飛び立って水路に降りた。

野鳥ガイドブックによると、クサシギは旅鳥又は冬鳥とされている。

野鳥仲間のM君によると、この水路にいるクサシギは毎年秋にやって来て、翌春まで留まっているの

を何年間も見て来たと言っています。この水路はクサシギの越冬地となったのでしょうか。今後が楽しみです。



浅瀬に降りて餌を探しているようです。



尾羽の手入れ中。